女騎士の
秘密

とある国の
美しき女騎士
『レティア』
まだ若く
女性とは思えない
剣さばきと身のこなしで
一人でオークにも勝つ傑物

特に愛馬である
ユニコーンの『ランス』に
乗馬としたときの強さは格別で
いまだ戦では負けなしだった
ブルル
フン
フン
今回の戦も
うまくいったな
ランス！
!!
ラ…ランス？
べろぉ
べろぉ

戦が一段落した
とは言え
今はまだ作戦中だぞ！
……
わかった
人のいないとこに
行くぞ…
ブフー
ガイ
ガイ
イル

レティアには秘密があった

しょうがないか…ユニコーンの力を得るためだ…

サス

サス

うっ…

何度見ても おぞましい 大きさだ…

ブルン

ビッ

彼女は
ユニコーンのランスに
性的奉仕をし
見返りに
『力』を得ていた
聖獣のくせに
人間の女相手に
勃起させるとは…
あぁ
耐え難いほどの
強烈な獣臭
はぁ…
ゴシ
ゴシ
美しさ以外凡庸な
女性であるレティアが
騎士団で結果を出すには
ユニコーンと禁断の契約を
結ぶ他無かったのだ

しかし
この匂いが
日に日に堪らなく
癖になっていくような…
スーッ
ムン
ムン
い…いや
気のせいだ
ちゅぷ
ちゅぷ
ブルルル

ビュクッ
ぶぴ
っぷぅっ
ビュー
ビュー
ゴクゴクゴクゴク

終わったぞ
ランス…
ちゃんと
精子も飲んだぞ
ドクドク
ビクビク
はぁはぁ
ど…どうした？
すっきり
しただろ？
……
まだ
やりたいのか？
グルルル
スリスリ

今日はもう終わりにしないか？
ここは野外だし
『これ以上先』はやりたくない…

!?

ギュウウン

体から力が…
抜けていく!?

あぁ…
パサ
プルン
むちっ

ほら
いつも通り
お尻の穴を
好きにしろ…

何度も何度も馬並みの
巨根を受け入れてきた
レティアの肛門は
常に開ききった形に
なっていた

ぐっ

ぐぱぁ

ブー

ブー

はぁ！
はぁ！
うっ…

ぐっ

カポ
カポ

あっ
んんんん！
腸が
こじ開けられていくっ…！
グググ
グググ
グポ
グポ
グポ
グポ
ズッ
ズッ
ああぁ！

はぁ！はぁ！

グボ

ぐぢゅ

ぐぢゅ

グボ

グボ

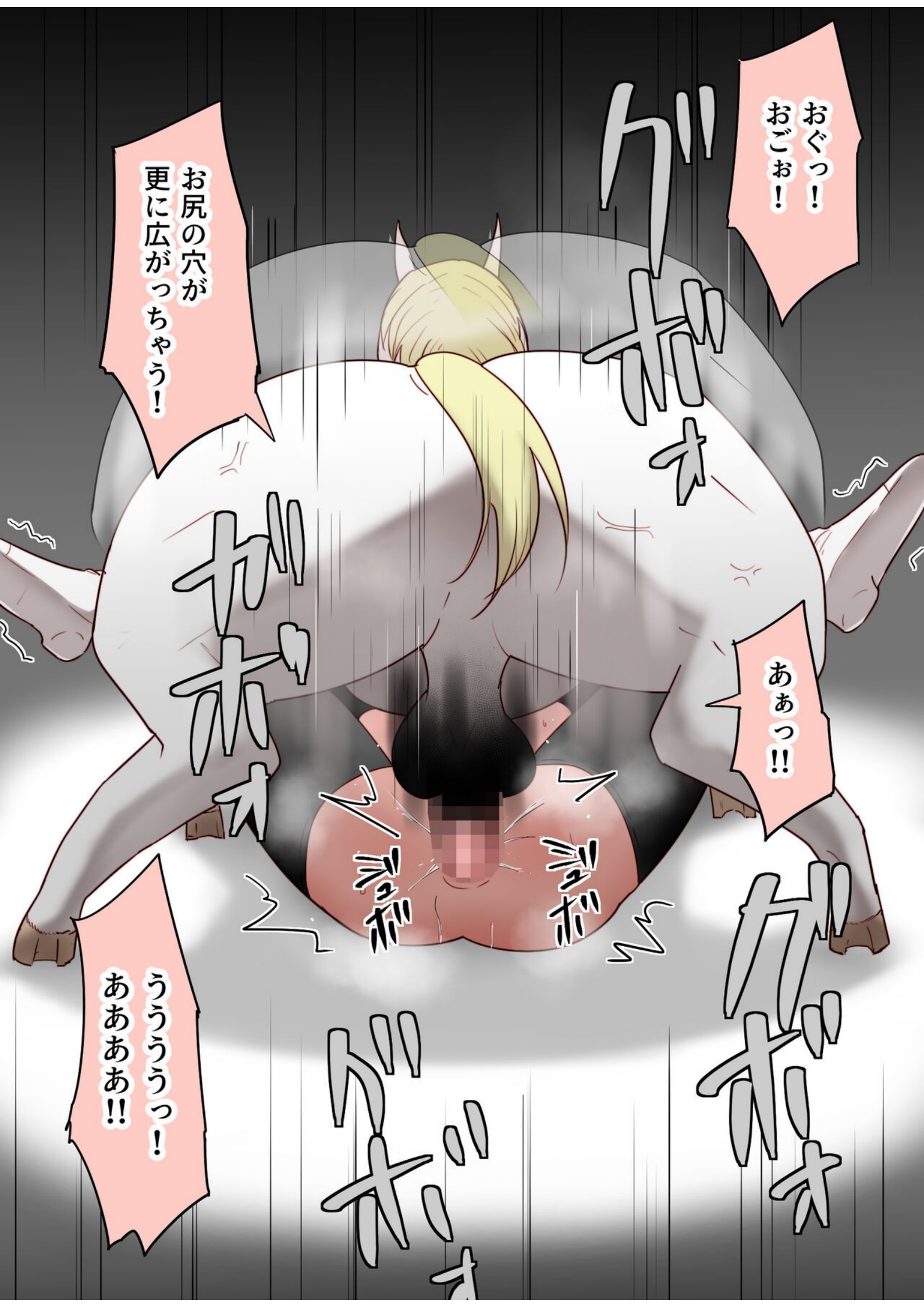
我慢しろレティア…
王国の騎士を
続けるには
これしか無いんだ…
…でも…

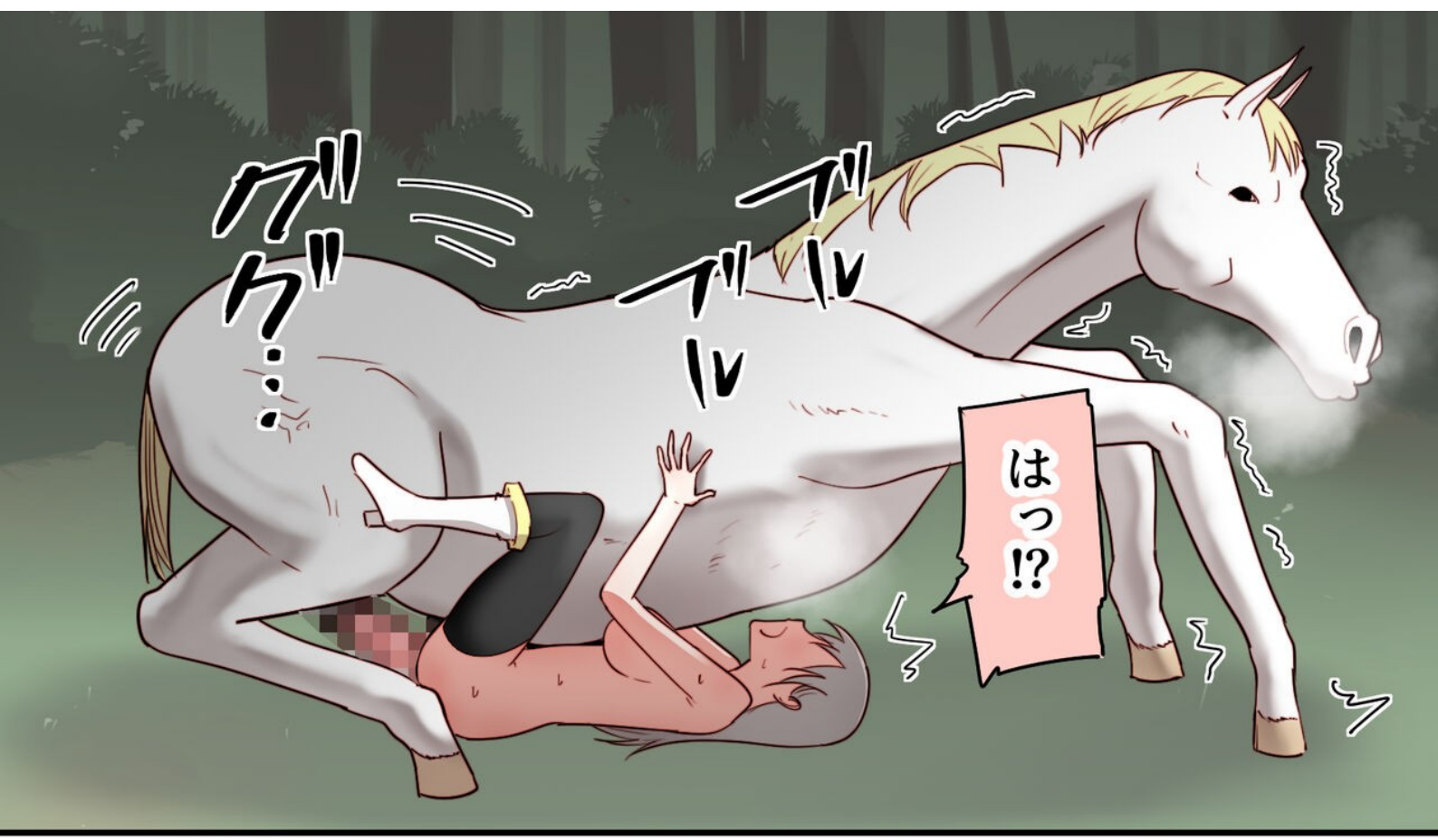
ズン

ズン

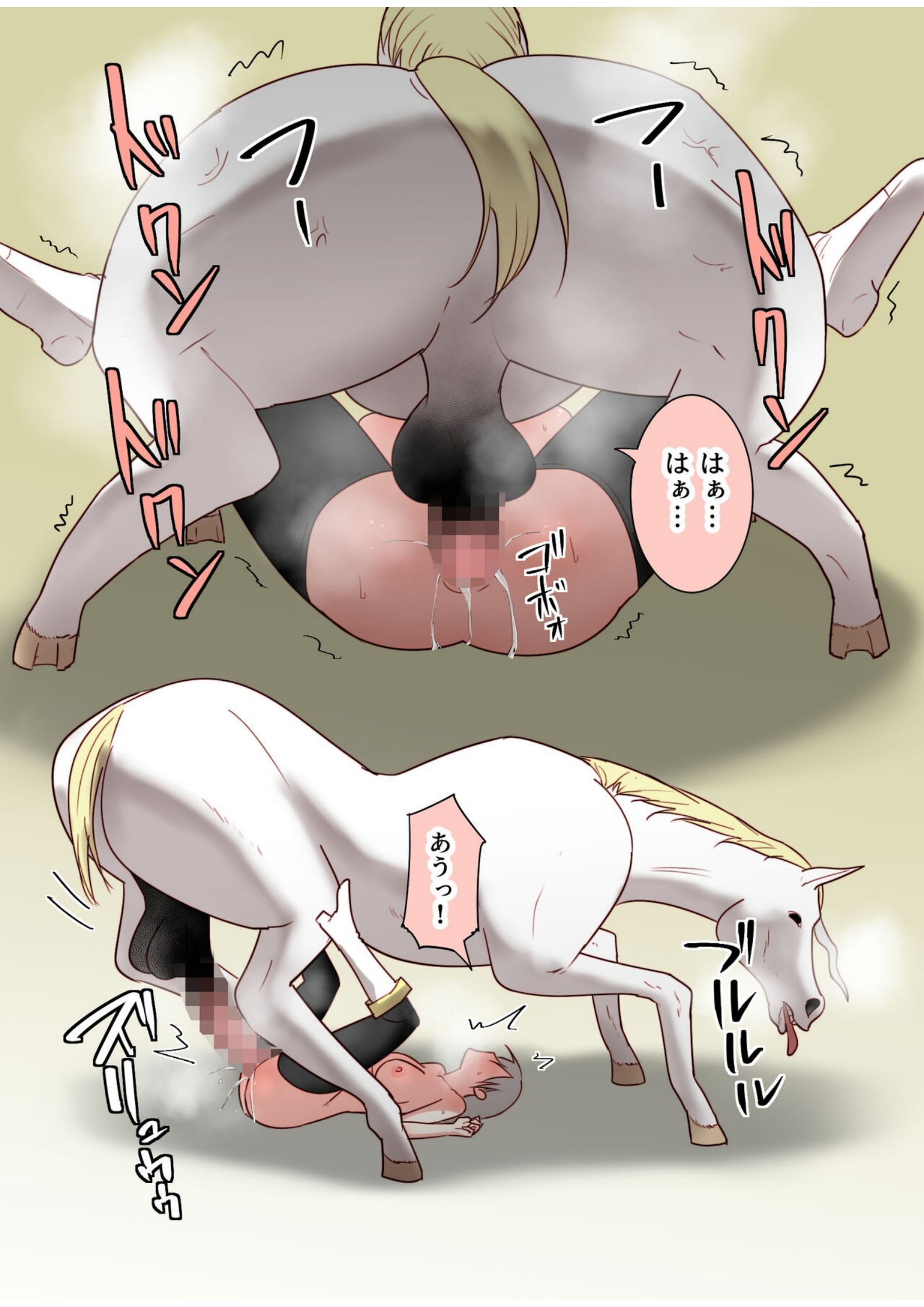
ズン

ランス！
ちょっと
勢いを抑えてくれ！

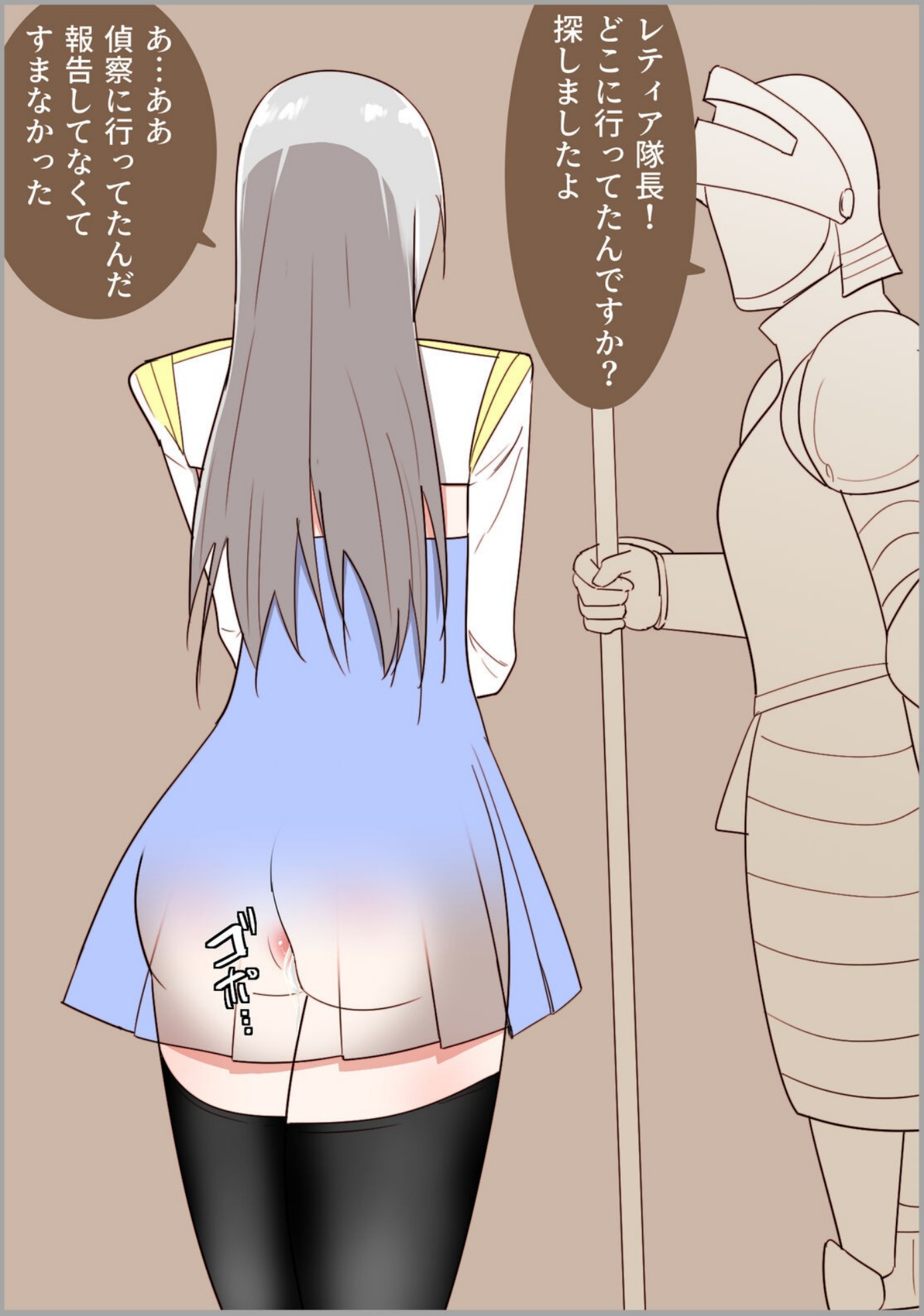

おぐっ！
おごぉ！
ガボォ
お尻の穴が
更に広がっちゃう！
ガボォ
あぁっ!!
ジュボ
ジュボ
ガボォ
ううううっ！
あああああ!!
ガボォ


ブルブル
グッグ…
はっ!?

ビクッ
熱いのが入ってくる!
ユニコーンのザーメンが
私に流し込まれる!
ビュクビュク


ドクン
ドクン
ドクン
ドクン
はぁ…
はぁ…
ゴボォ
あうっ！
ブルルル

あふっ!!
ビクン
ぺシュ
ぐっぽん
はぁはぁ…
ゴポ
また
お尻広がっちゃったかも…


レティア隊長！どこに行ってたんですか？探しましたよ
あ…ああ偵察に行ってたんだ報告してなくてすまなかった
ブポ…

最近ランスが
私を求めてくる回数が
増えている

脅せば
私が言う事を聞く
というのを覚え
味をしめたのだろう

時も場所も選ばず
内容もどんどん過激になっていき
私の体は常に
ユニコーンの精子で満たされていた

そして私は
ついに選択を迫られた

お尻はもう
飽きた!?
ま…前を
使いたい!?

嫌なら
もう『力』は
貸さない…って…

私の出した答えは…

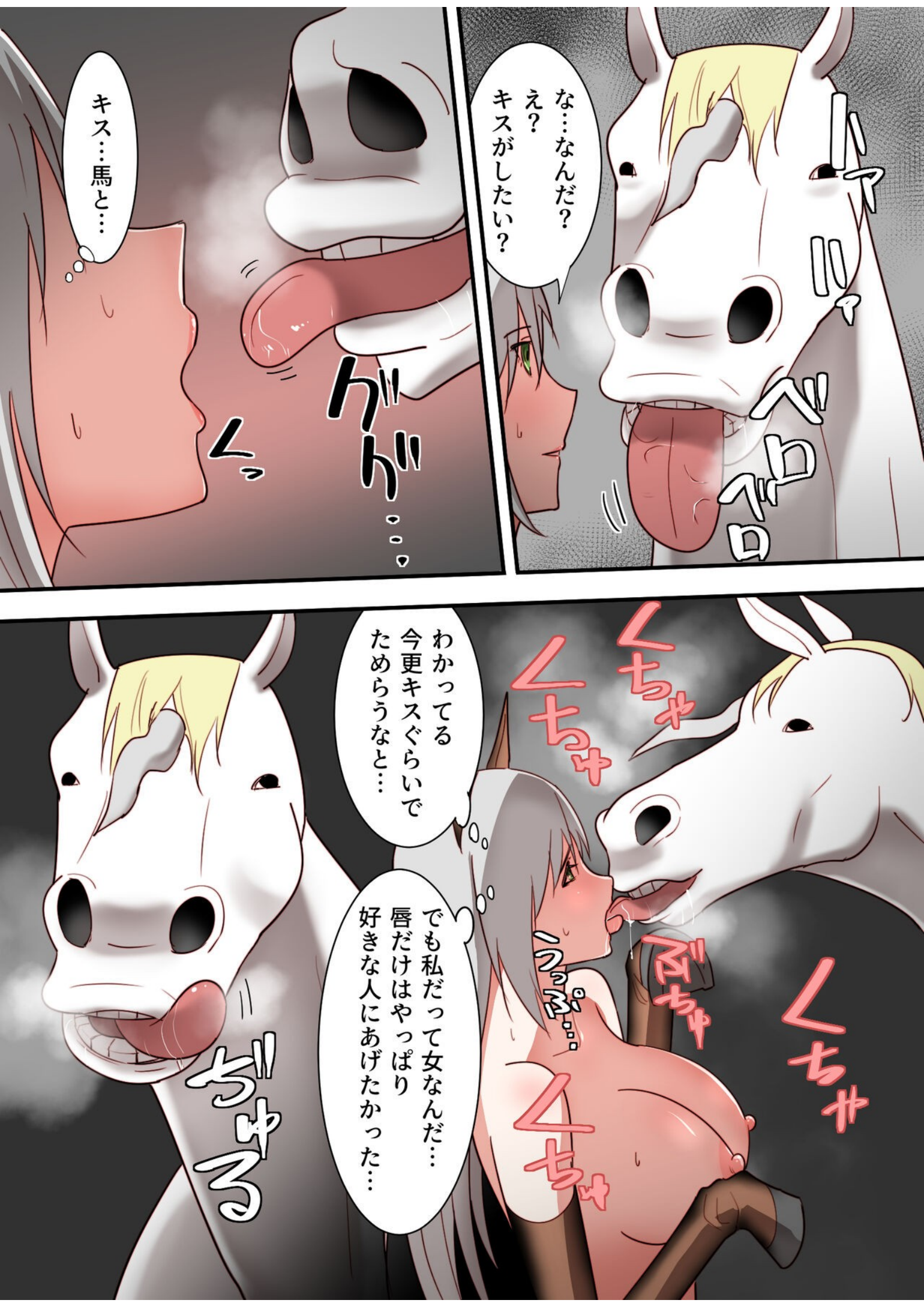
ほらランス
お前のために
こんな衣装揃えたんだ♥

誰からも尊敬され
讃えられる騎士の地位…
それは
捨てられない…！

ブルルフーフー

これで私も
お揃いだ

私の体は頭の先から
足の先までお前の物だ…
だから
私から力を奪わないでくれ…


な…なんだ？
え？
キスがしたい？
ハァハァ
ベロベロ
キス…馬と…
グッ
グッ…
わかってる
今更キスぐらいで
ためらうなと…
でも私だって女なんだ…
唇だけはやっぱり
好きな人にあげたかった…
くちゃ
くちゃ
ぐちゃ
くちゃ
くちゃ
ちゅる

ランス…
ほ…ほんとにヤるのか？
お前は気高き
ユニコーンだろ
人間の私と交尾して
問題無いのか？
私はアナルも唇も
そしてマンコも
馬に奪われることに
なるのか…
ゼトー
ビンビン

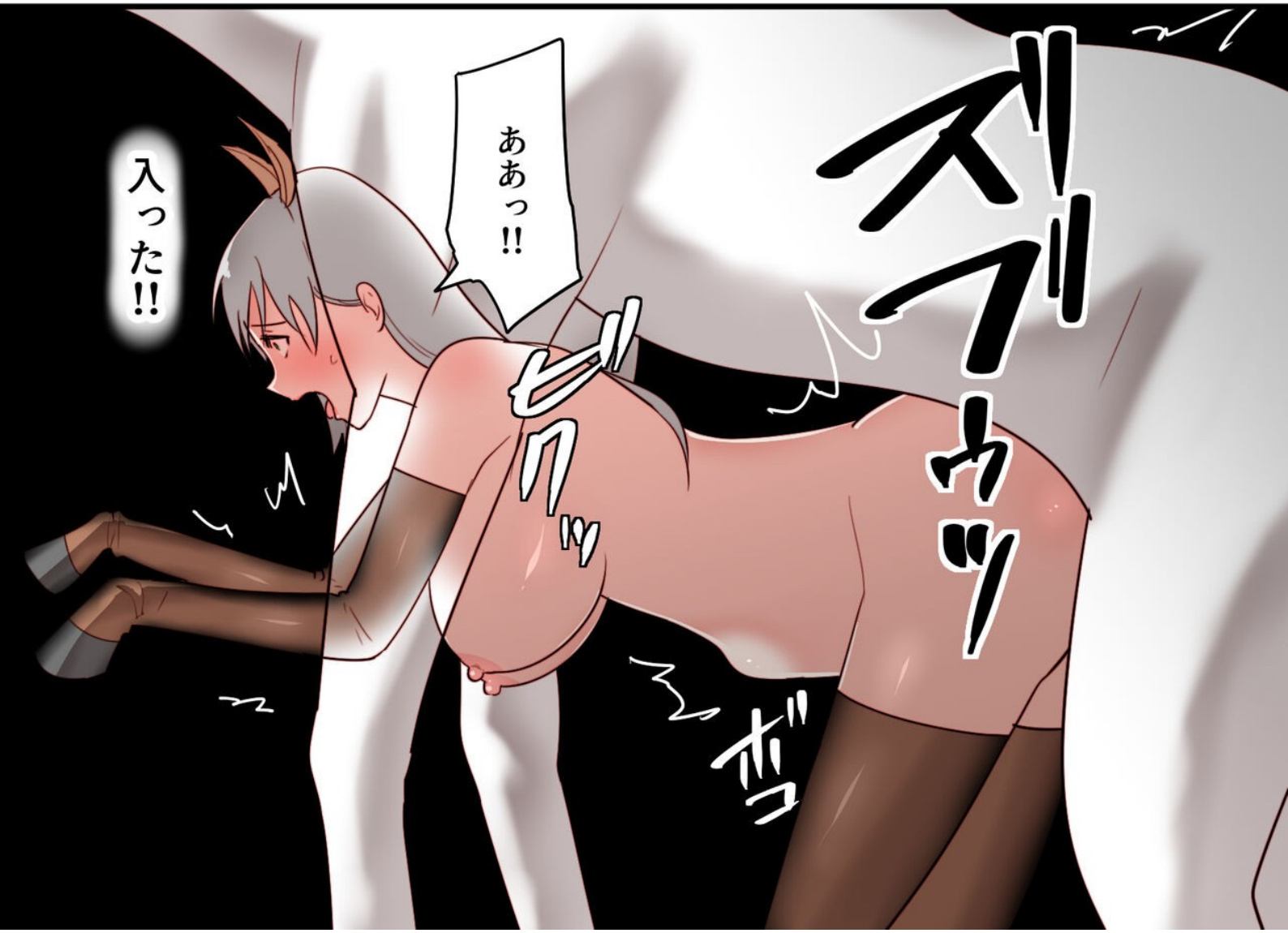
ランス…

まるで「これでこの女は俺の物だ」と言わんばかりの顔だな…

ヌプヌプ…

あ…あぁ…

馬ちんぽが私のマンコに…



ああ…！
ぐう…

ブルル

まんこが…
ちんぽで埋め尽くされてる…

グボ

馬ちんぽと
私の体が
一体になってる…

ビクビク

ミチッ…

待って！
まだ動くな！
慣らしてから…

グググ…

ふっ！
うぅ！

ガッ
ポ

ガ
ポ

ガ
ポ

お…おぉ！

ズズズズ
あぁっ…
ん…んん？
ボッボッ
あれ？なんだこれ
ズンズン
お尻が犯されてるときには無かった感覚が…

馬ちんぽで
マンコが満たされて
私の体の女の部分が
喜んでる！
ガボ
ガボ
ランスを
男として…
いや
オスとして
受け入れ始めてるんだ…
女騎士としての私は
所詮仮りそめ…
馬ちんぽを
求める私こそ
本当の姿!?
あっ
あっ
ブチュ
ブチュ
違う！
私はそんなんじゃ
無い！

ブルブル

ランスが震えてる
射精が近い…

さすがに中出しは…

でも…

尻の穴に
出されるのとは
わけが違う…！

馬の精子欲しい…
体が求めてる…

何を考えてるんだ！
私は人間だぞ！

私は気高き女騎士！

私は…

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

んふー
んふー

メス馬

イクッ
あああ
ああああああっ!!
ブルルル
ビュル
ビュッ
ビュッ
ほー♥
ほー♥
ドクッ
ドクッ
ドクッ
ビュッ
ビュッ
馬の子種が
入ってくる♥

あー…
あ…
あぁ…
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
自分をメス馬と
自覚した瞬間
何かが私の中で
弾けた…

きっと私はもう
二度と
人間に戻れない
そして…
ズル
マポ
新たな秘密を
体に宿してしまった…
はぁ
はぁ
ピト…
トクン…
ごぽ
おわり

発行 フレイア

@flare_kemono

Twitterでは主に作品の予告をやっています。
一部の特殊な異種姦系は専売もありますので、
フォローしていただくと見逃しがありません。